

次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト 次世代空モビリティの安全認証および 社会実装に求められる性能評価手法に関する研究開発

研究開発内容

次世代空モビリティの許可承認や運用に必要な安全性に関する証明／認証方法を研究開発し、航空業界の標準化のコミュニティと協調し、国内外で標準化活動を実施する

研究開発成果

①無人航空機の第一種/第二種の機体の認証に関する文書開発

- ・航空局ガイドライン(第2種)の解説書をVer1.1として更新(2025年1月)



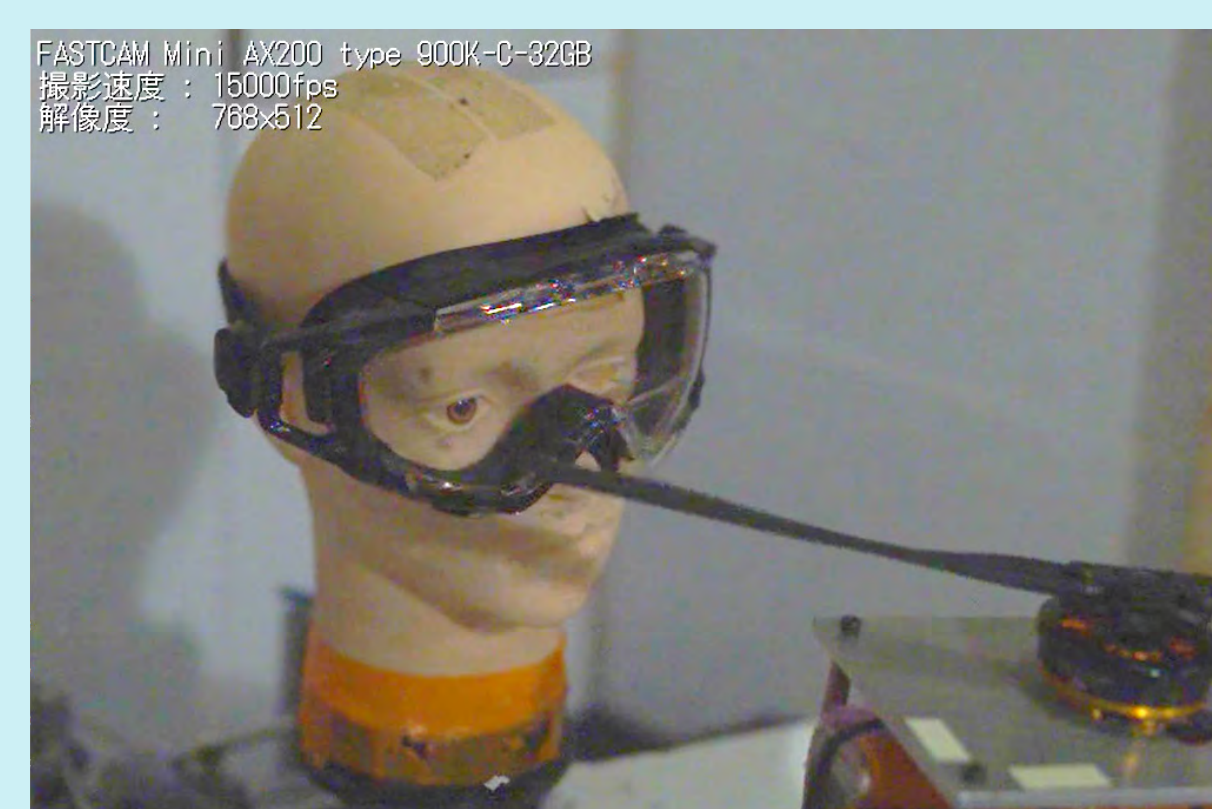
解説書作成のためにワークショップ等を実施



解説書ダウンロードWeb

②無人航空機の運用に必要な安全管理に関する研究開発

- ・個人保護具の有効性調査を実施
- ・必要性能を産業界と議論



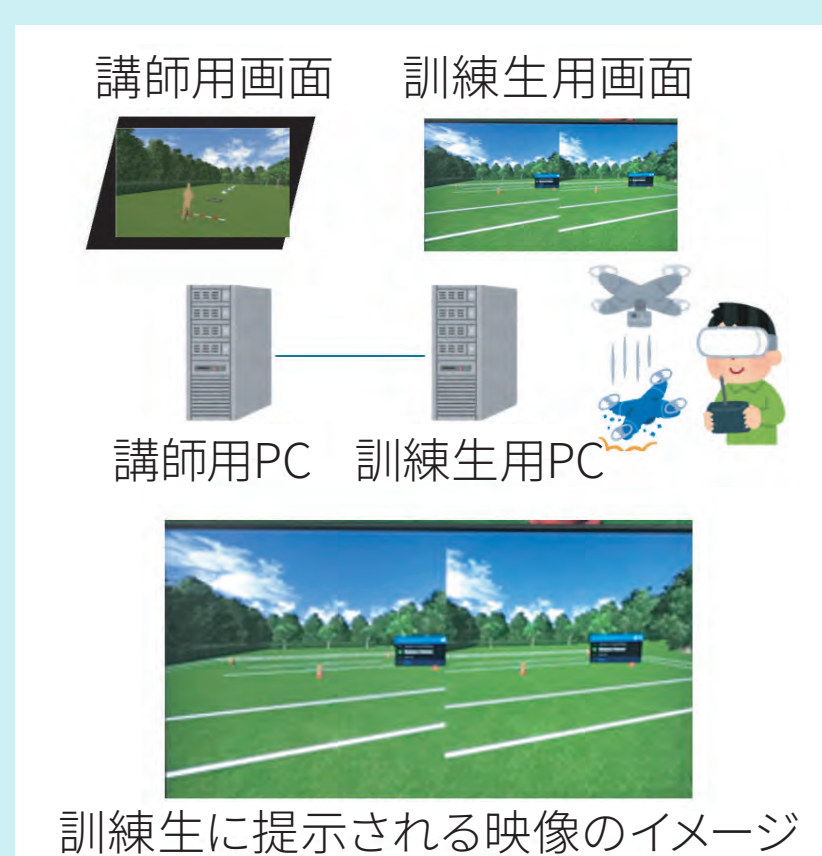
ドローン運用に必要な個人用保護具の実験実施



実験動画

③無人航空機のフライトシミュレータの安全認証に必要な要件の研究開発

- ・シミュレータに必要な要件を抽出し、評価試験を実施



訓練生に提示される映像のイメージ

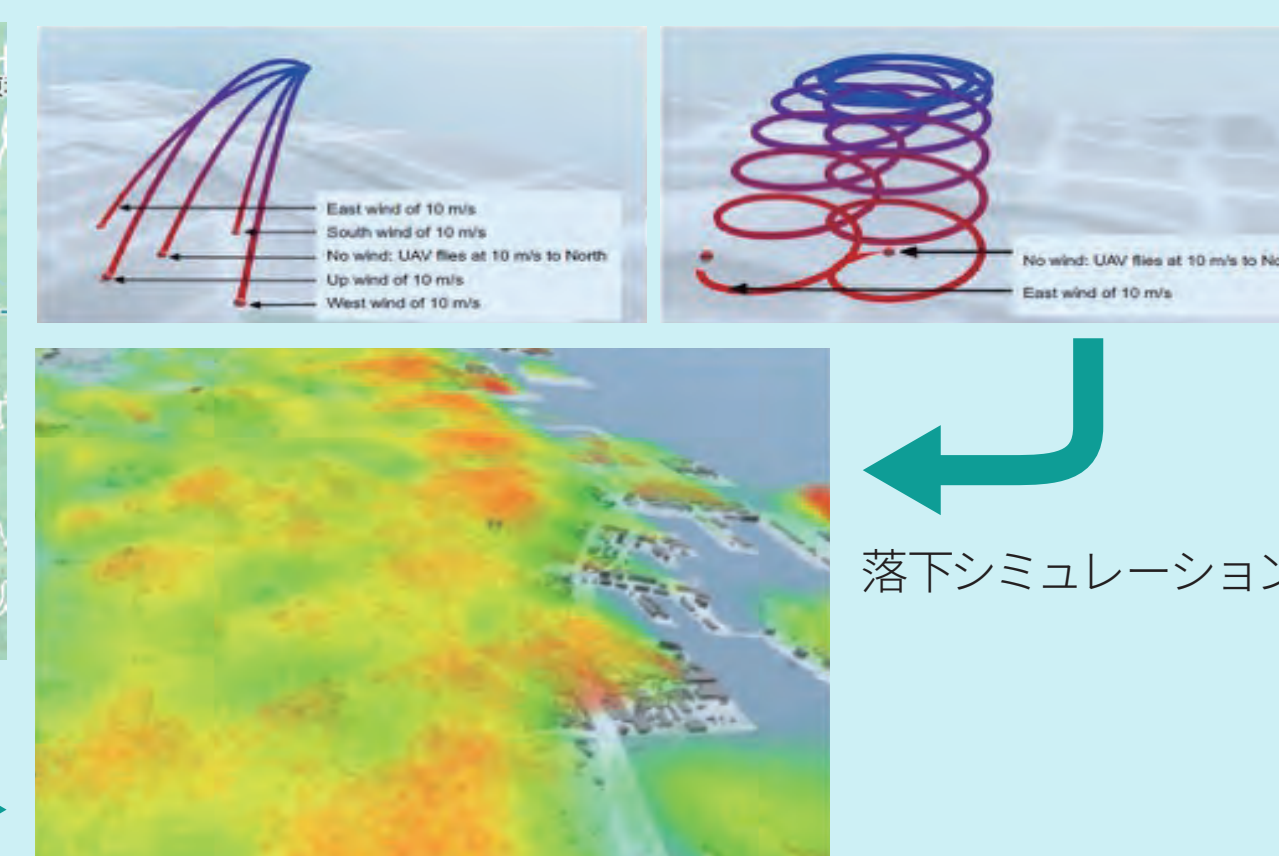


④無人航空機の運航の安全性の評価法の研究開発

- ・地上リスク評価のデジタル化
- ・空中リスクのモデル検討



動的な人口密度
データ(現在・過去)



落下シミュレーション

今後の取り組み

無人航空機の合理的な安全確保による社会課題解決と産業拡大の同時達成を目指す

- 第一種の無人航空機の機体認証に関する文書開発
- ドローン運用に関わる標準化(個人保護具の標準化提案、教習用シミュレータの国際標準化)の推進
- 空中リスク評価手法の開発と確立

体制



※一部の実施者は2024年度で終了